

# プラスチック問題の現状

2016年度の清涼飲料用ペットボトル出荷本数は**227億本**でした。

(PETボトルリサイクル推進委員会調べ)

出荷本数は年々増加しており、それに伴い「プラスチックによるごみ問題」が深刻化しているのが現状です。

また、世界の海岸で拾われたごみトップ10の3位にペットボトルが入っております。



## ■ ペットボトルの生産量と回収率



グラフを見てみると、2012年以降9割前後の回収率があるので問題ないのでは？と思うかもしれませんが。

しかし、出荷されている本数を考えると回収できなかった1割でも大変な量となります。

2016年に販売されたペットボトル（調味料みりん・料理酒等含む）は**232億本**と推定されます。

これが全て消費されごみとなった時、どのくらい回収されたのでしょうか？

2016年に回収されたのは88.8%です。これは重量あたりでの回収率ですが、本数にもこの回収率を単純にあてはめると回収されたペットボトルは**206億本**となります。つまり、回収されなかった残りは**26億本**にもなります。

※PETボトルリサイクル推進協議会調べ

## ■ 浄水器で実現できるペットボトル消費量の削減

例えば、500mlペットボトルに入ったミネラルウォーターを毎日購入する人が、浄水器の水をボトルに入れて持ち歩くことで、年間360本以上のペットボトルを削減することができます。

